

町 長	副町長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会議・打合せ・協議	文書番号	
		決裁期日	平成21年 12月 1日
名 称	上富良野町地域省エネルギービジョン策定等事業第4回策定委員会		
日 時	平成21年11月27日(金) 午後1時30分～3時15分		
場 所	役場3階 第2会議室		
出席者	別紙のとおり(12名) 傍聴者1名(佐川典子)		
内 容	1 開会		
	2 委員長挨拶		
	4 議事		
	(1) 省エネルギーの可能性について		
	ドーコンより素案について概要説明。		
	温室効果ガス削減のターゲットは、メタンと一酸化二窒素については家畜の飼育に起因するものであり、基幹産業を縮小することは現実的に無理なので、二酸化炭素のみとしたい。		
	・ 6-8 ページで単位延べ床面積あたりのエネルギー消費量が平均 219MJ/m <sup>2</sup> となっているが、小さすぎるのではないか(ホテルで2,000MJ/m <sup>2</sup> 程度)(藤崎委員)		
	・ 図6-2-1について、通常なら直線の周辺に点が集まるはずだが(濱田委員長)		
	図6-2-1の縦軸の数値と併せて今一度確認する(ドーコン)		
	・ 表によって原油換算、重油換算など様々なので、一般的になじみのある灯油に統一してわかりやすくできないのか(三本委員)		
	割り返す数値を変えればいだけなので、灯油なら灯油に統一するのは可能。わかりやすいことが重要なので、一般に公表する概要版については灯油で統一する(ドーコン)		
	・ 6-1 ページの削減目標値の25%と、省エネで削減可能となっている6.8%との差は新エネで対応するということか(松井委員)		
	人口減などの自然減や、国・道の施策で減少する部分もある。それでも足りないが、森林吸収も含めて25%という考え(ドーコン)		
	そのようなことを盛り込めば、よりわかりやすいのでは(松井委員)		
	その内容は、上位計画である実行計画に盛り込む(事務局)		

内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>6-2 ページの「基本方針 3」の「コスト負担をかけない施策」について、コストはかかるものなので、「過大な」と入れた方がいい。6-4 ページのエコポイントの表記については、実施期間が延長されるのかどうか動向を見て、入れるかどうか検討しては。また LED が安くなってきているし、電気自動車も開発が進んできていることから、インバータ照明やハイブリッド車だけでなく、これらも盛り込んでどうか（松井委員）</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">電気自動車は電気を使うが、発電や送電の際のロスが必ず発生することから、本当にエコなのかどうかの議論の余地はある。この場で盛り込むかどうかの議論をお願いしたい（ドーコン）</p>
	<p style="text-align: center;">6-10 ページには電気自動車について触れており、選択肢の一つとして入っているのでこのままでよい（松井委員）</p>
	<p>（2）重点プロジェクトについて</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>7-3 の内容でよいのではないか。富良野市でもビオトープがつくられており、時代に求められていることから、日常の教育活動の中で実践したい。新しい学習指導要領にも環境教育が盛り込まれるようだ（瀬尾委員）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的に環境教育プログラムはできており、既実践されている（藤崎委員）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>白銀荘への効果が高いということがわかっただけで勉強になった（安川委員）</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">白銀荘についてはボイラーの更新に併せて、省エネ化を実施することが既に決まっている（事務局）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃から省エネに身近に触れておくことは、最も重要（三本委員）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>このビジョンをもとにして町が推進していくのだが、普及啓発をいかにわかりやすく実施していくかが重要（佐川委員）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビジョンを策定したらこのような委員会は終わりではなく、意見を聞く場として、策定後にも継続するなどしてほしい（三本委員）</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">進行管理も含め、本ビジョンについてパブリックコメントを実施し、広く町民から意見を募集することとしているので、ご協力を（事務局）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>このようなプロジェクトを町だけで実施するのは大変。講座を受講した普及員もいるので、省エネセンターの活用を（藤崎委員）</li> </ul>
	<p>（3）省エネルギー事業の具現化に向けた進行管理のあり方について</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会は行政機関の中に入れるのか（松井委員）</li> </ul>
	<p style="text-align: center;">一般町民にて構成し、小さなことからいろいろ実践する実行部隊としての位置づけで、附属機関ではなく、実践を通じて様々な意見を行政にいただくような組織を考えている（事務局）</p>
	<p>（4）その他</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>次回の会議は2月なので、それまでの間に何かあれば、遠慮なく事務局に意見を寄せてほしい（濱田委員長）</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>本ビジョンについてパブリックコメントを実施することについて、了承していただきたい（事務局）</li> </ul>
	了承

## 第4回 上富良野町地域省エネルギービジョン策定委員会 会議出席者名簿

所属・役職	氏名（敬称略）	出欠	代理出席
北海道大学大学院工学研究科 准教授	濱田 靖弘	出	
(財)省エネルギーセンター北海道支部 事務局長	藤崎 義則	出	
北海道電力株式会社 富良野営業所 所長	松井 利顕	出	
有限会社 南プロパン 代表取締役社長	三本 孝洋	出	
上富良野町建設業協会	佐川 泰正	出	
上富良野町商工会	田中 稔久	欠	
(社)かみふらの十勝岳観光協会	濱本 幹郎	欠	
上富良野町校長会	瀬尾 祐二	出	
町民代表（上富良野消費者協会会長）	島瀬 良一	出	
〃 （上富良野町女性連絡協議会会長）	安川 美音子	出	
〈オブザーバー〉			
(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構	内藤幸次郎	欠	
北海道経済産業局資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 課長	小貫 秀治	欠	
北海道上川支庁産業振興部 商工労働観光課 課長	高木 雅彦	欠	
〈事務局〉			
上富良野町町民生活課 課長	田中 利幸	欠	
〃 生活環境班 主幹	林 敬永	出	
〃 〃 主査	野寺 龍二	出	
〈委託調査会社〉			
(株)ドーコン 都市環境部 副主幹	山崎 真也	出	
〃 主任技師	竹森 憲章	出	